

危険物施設の震災等対策ガイドライン

<http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/kikenbutsu/guideline.html> (消防庁ホームページ)

消防庁では、東日本大震災を踏まえた危険物施設の震災等対策のあり方に関する検討の結果より、危険物施設の事業者が、適切かつ容易に震災等対策（事前の計画の作成、従業員への教育・訓練、震災発生時の事業者等の対応、発生後の被害の確認・応急措置、臨時的な対応、復旧対応等）を実施することができるよう、過去の被災事例や奏功事例から得られた教訓や震災後に普及した技術や得られた知見を踏まえた危険物施設の震災等対策のポイントや留意点をまとめた「危険物施設の震災等対策ガイドライン」を作成しインターネットにて公表しています。

ガイドラインの内容としては、危険物施設類型毎（製造所等編、屋内・屋外貯蔵所編、屋外タンク貯蔵所編、移動タンク貯蔵所編、給油取扱所編、一般取扱所編）に、①東日本大震災の被害と課題 ②事前対策 ③施設の使用再開に向けた対応などがまとめられています。中でも参考になるのは、事業所での取り組み事例が写真とともに掲載されており、現実的にわかりやすく参考になる内容となっています。

※検索サイトにて「危険物施設の震災等対策ガイドライン」と入力してください。

事業関係者の皆様へ

危険物施設の震災等対策ガイドライン

東日本大震災では危険物施設で様々な被害が発生し、また事業の中断を余儀なくされました。そこで各事業所の震災等対策を推進するガイドラインを施設類型別でホームページに公開しました。URL <http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/kikenbutsu/guideline.html>

製造所 屋内・屋外貯蔵所 屋外タンク貯蔵所 移動タンク貯蔵所 給油取扱所 一般取扱所



危険物施設は震災時等において、二次被害の発生防止に加え、早期の燃料等の供給の再開や避難支援等の役割も期待されています。

地震・津波
 に対する
 備えが必要!!

【取り組み事例の一例】

- ・槽類排出弁の閉弁自動化
- ・パイプラックの耐震補強
- ・危険物施設外周建物の扉を水密扉に変更
- ・重要設備設置位置の嵩上げ
- ・屋内貯蔵所等のラックに落下防止バーの設置
- ・焼入れ炉の火災防止対策
- ・屋外貯蔵所の津波漂流対策
- ・ポンプ設備の津波浸水対策
- ・通気管系統への手動弁増設
- ・注入口の保護
- ・水が混入した貯蔵油の復旧対策
- ・配管保温材を防水素材に変更
- ・地下貯蔵タンクの液状化対策
- ・資機材等の高所保管及び設置位置の嵩上げ

世界初！スケルトン消火器 CALMiE カルミエ 大好評！

5月から販売を開始しました 世界初の透明樹脂製蓄圧式消火器『カルミエ』が、発売開始前より予約をいただき、続々と配置していただいております。

【ご購入いただいたお客様】

- ・特別養護老人ホーム
- ・保育園
- ・個人の住宅
- ・ファッション関係のビル
- ・映画館
- ・研究所
- ・新築事務所
- ・病院
- ・工場の事務所

【お客様のご感想】

- ①デザインがオシャレで、目立つ所に堂々と設置できた。
- ②軽く、老人や女性にも扱いやすい構造になっている。
- ③薬剤が見えて、目で見る管理ができ、社員の防火意識の向上ができる。
- ④調理場など水のかかる場所でも錆びず、衛生的である。
- ⑤来客者から注目され、自社の防火意識の高さをお客様へPRできる。



写真は、住友化学(株)健康・農業関連事業研究所様です。全消火器(対象:ABC10型)を「カルミエ」に更新していただくことになりました。



お客様アンケートの結果のご報告

平成26年5月に『お客様アンケート』のご協力をお願いしましたところ、約5割のお客様より貴重なご意見をご回答いただきました。ありがとうございました。その内容を分析しました結果、下記のような内容となりました。

(1) お客様は、弊社の業務に対して『安全と品質』を重要視されています。

お客様が弊社の業務に対する関心事項について、

1位 安全関係 2位 品質関係 3位 ソフト関係 4位 価格関係 となっております。

(2) お客様のうち“2割”の方が、弊社は他社より安全に業務をこなしている と評価していただいています。

◎他社より安全 20% ◎他社と同様に安全 49% ◎余り気にしない 18% ◎他社より不安 0%

(3) お客様は安全について、作業指揮者・監督の指導状況を見て評価をされています。

お客様は安全について、何をみて評価されているか。

1位 作業指揮者・監督の指導状況 2位 実際の作業の状況 3位 作業者が作業手順を把握しているか
4位 服装・身だしなみの状況 5位 お客様の安全基準の順守 6位 点検道具・工事工具の整備状況

(4) 67%の方が弊社の情報（FIRE 通信・ホームページ）を利用されています。

◎FIRE 通信・ホームページともに見た 23% ◎FIRE 通信だけ見た 32% ◎ホームページだけ見た 12%

◎両方見ていない 25% ◎無回答 8%

平成26年 初田防災設備 安全衛生大会

6月4日

『再確認 家族の笑顔 守るため』(本年度 安全標語)

平成26年6月8日 初田防災設備 安全衛生大会を実施しました。品質の高い消防設備点検、工事を安全に実施するために、全社員及び協力会社責任者・作業員が参加し下記事項について勉強をしました。

(1) 安全講和 講師：旭硝子(株)環境安全保安室 清田満 様

『安全』とは、身の危険がなく安心して楽しく仕事ができること。このことにより、各人のモチベーションが上がり持続し、結果とし、売上があがる。などの内容をヒューマンエラーの例など交えて講和をして

いただきました。1時間の講和と思えないほど、全員が関心を持ち拝聴させていただきました。

(2) お客様アンケートの結果発表

お客様は、弊社の業務に対して 安全・品質を重要視されております。価格競争の厳しい折ですが、他社に勝つには、「作業指揮者・監督が作業手順を作業者に示し、きちんとした服装・身だしなみで安全で品質の高い業務を遂行する」ことが必要となることをアンケート結果より確認しました。

(3) 安全パトロール・KY実施状況・クレーム内容の結果発表

結果内容について、全員で確認をして再発防止策を確認しました。

(4) 安全標語の決定

全員で応募した安全標語49作品の中から、本年度の安全標語を決めました。

『再確認 家族の笑顔 守るため』

